

分野
計画

上下水道ビジョン

安全な水道の供給

- 水質管理体制の強化

水道水の安定供給

- 複数水源による水道水の供給
- 危機管理体制の強化
- 耐震化の推進
- 水道施設の更新

サービスの維持・向上

- 適切な維持管理
- 水道事業の健全な経営
- 人材育成等の推進
- お客さまサービスの向上
- 環境への配慮



上下水道
3-1

上水道

基本
方向

限りある水道水を大切に使う社会の形成を図るとともに、安全で清浄な水道水を安定的に供給します。また、サービスの維持・向上に向け、健全かつ安定的な事業を運営します。

現状と課題

水質基準強化への適応

水質基準に適合した安全な水道水を供給するには、水質基準項目を検査する機器の充実を図り、検査精度を維持していく必要があります。また、国の水質基準強化の動きを注視し、検査項目を増やすなど、柔軟に適応していく必要があります。

大規模地震等の災害対策

近年、大規模地震や気候変動に伴う集中豪雨・渇水が頻繁に発生し、全国各地で断水・漏水等の被害が生じています。いつ、どこで発生するかわからない自然災害に備えるため、本市においても管路・施設の耐震化など危機管理への対応を徹底していく必要があります。

中長期的な企業経営

本市では、老朽化施設を法定耐用年数どおりに更新した場合と、重要度・優先度などをもと

に更新基準年数を設定して資産を長期使用する場合のどちらにおいても、更新需要に必要な財源が将来的に不足することが見込まれています。そのため、支出についてはアセットマネジメントの考えに基づく施設の長寿命化、施設更新時の統廃合・ダウンサイジング等を、収入については補助金の交付要望や適正な料金水準等の検討を進め、水道サービスの持続性を確保していく必要があります。



指標 (KPI)

重要業績評価指標	基準値	目標値(令和7年度)
水質検査項目の水質基準適合達成率	100%	100%
配水池の耐震化率	54.5%	77.3%
基幹管路の耐震適合率	31.2%	41.5%
経常収支比率(公営企業会計)	112.9%	100%以上

